

二〇二〇年度 尚綱学院大学 推薦入学試験 基礎力判定審査【国語】  
「健康栄養学類志願者は、問【一】のみ解答」

【一】 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権の観点から、文章の掲載を控えます。

著作権の観点から、文章の掲載を控えます。

平田オリザ『わかりあえないことから』（講談社現代新書 一部改変）

問一 本文中の傍線を施した(1)(2)(4)(5)(6)(9)の漢字の読みをひらがなで書き、(3)(7)(8)は漢字に直しなさい。

問二 本文中の（A）に入ることばを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 調子に乗せた
- イ 水を差した
- ウ 横車を押した
- エ 拍車をかけた
- オ 音頭を取った

問三 （B）には筆者による語句の解説が挿入されている。本文の内容を考えて筆者の解説と思われるものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 相手のコンテキスト、相手が何も言わなくとも付度する
- イ 相手のコンテキスト、相手が何が言いたいのかを言葉にする
- ウ 相手のコンテキスト、相手が何が言いたいのかを確認しやすい
- エ 相手のコンテキスト、相手が曖昧な話をしてわかりあえる
- オ 相手のコンテキスト、相手が何が言いたいのかを察しやすい

問四 （C）に入る漢字二字の熟語を答えなさい。

問五 ①両者とは何をさしているか、それぞれ本文中より抜き出して答えなさい。

問六 ②「説明する」ということは虚しいことでもある とあるが、その理由がわかる一文の初めの五字を抜き出して答えなさい。

問七 本文には次の一文が抜けている。どこに入るかを前文の末尾の五字（句読点を含む）を抜き出して答えなさい。

へ 少数派だからダメだと言っているわけではない。 へ

問八 本文の内容と合致しないものを次の中から二つ選び、記号で答えなさい。

ア 日本の若者たちには、日本文化に対する誇りをもったまま、他者に対して言葉で説明する能力を身につけさせたい。

イ ヨーロッパでは、自らがどんな能力を持って社会に貢献できるかを、明確に言葉で説明できなければならない。

ウ ヨーロッパのようなコミュニケーション文化で社会を形成してきた人たちには俳句のような芸術文化は容易には理解できない。

エ 世界で一神教同士がぶつかりあっている中で、日本的なコミュニケーションの形が世界平和に貢献できることもある。

オ 日本社会には、演劇のように他者を必要とする「対話」という概念がなく、日本の若者が国際社会を生きていくのは困難である。

【二】次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

『思考の整理学』や『知的創造のヒント』などの本を書いている外山滋比古さんは、よく「なんでも知っている人より、なんでも（A）人になったほうがいい」と書いていらっしやいます。

そのためには、どれだけ情報を遮断していくか、どれだけ入ってきた情報を忘れていくか。一外山さんはそういうふうにおっしゃっていますけれど、僕も①それを実践しています。情報によって僕らの生活はどんどん便利になりますが、便利さに乗っていくことによって、失われていく能力も多いことを忘れてはいけません。合理性ばかりを優先すると、だんだん人が均一化されていくような気がします。便利なものは注意深く使いたいと心がけます。

②便利さに乗っていかない生き方をわざわざ選ぶというのでしょうか。自分を困らせる、不便にさせる、そうすることによって、持っている自分の能力が磨かれていくはずだと思います。

ときには失敗もするでしょう。（B）、その失敗が自分の情報となつて、センスを磨いてくれることになるのです。便利なことに溺れていくと、失敗もしないし、困ることもなくなるでしょう。そうすると、どんどん自分が便利なことに麻痺してしまつて、結果としていつか本当に困るときが来ると思います。

（C）、「考える」ということはとても身体的なことです。ときには苦しいことで、疲れることです。簡単にはできないことでもあります。

（D）僕は、一日のなかで二時間は「考える」ということを、スケジュールに入れていきます。まず朝一時間、必ず何もしないで、何も置かれていないきれいな机の上にメモ帳だけをおいて、考えます。今、自分の頭のなかや胸のなかに何があるのか、注意深く探す作業をします。それを毎朝一時間、そして午後にも一時間。一日のなかで二時間。そういう時間をずっとつくってきました。③これはなかなかむつかしい習慣ですが、僕にとつて大切な訓練にもなっています。

そのなかで思いつくことばやアイデアをたどっていくとか、また、答えを見つけたいことをよく考えてみます。

僕は四十七歳ですが、ここ二、三年は、とくに午後になると考えることはむつかしくなってきました。時間をつくつても、集中力がもたないのです。けれども、みなさんには朝いちばん、仕事の前の一時間に集中して考える時間を持つことをおすすめします。朝は、頭がリフレッシュされているので、考えるのにいちばんいい状態になっています。

考えるのは苦しいし、大変な作業ですが、つづけていくと楽しくなってきました。何が楽しいかというとき、考えていると何か発見があることです。考えることの成果といえるものが必ずあるのです。

「センスに替わることばってなんだろう」と、ずっと考えていると、「なんか『美德』っていうことばがいちばん近いかな」と、ひらめくのです。そうすると、それは自分の発見ですよね。胸を張って、「これは僕が思いついたこと」だと言えるのです。

インターネットで調べたことではないし、新聞で読んだことでもない、本で読んだことでもない。④それは自分に大きな自信をくれることですし、次の一歩へのジャンプ台になることだと思うのです。

問一 (A) には三文字のことばが入る。本文中のことばを答えなさい。

問二 (B) (C) (D) それぞれにふさわしい言葉を次の中から選び、記号で答えなさい。

ア だから      イ そして      ウ でも      エ あるいは      オ 一方

問三 ①それを実践しています とあるが、筆者は外山氏のことばをどのようにして実践しているか。その方法がもっとも具体的に書かれている一文の初めの五文字を抜き出して答えなさい。

問四 ②便利さに乗っていない生き方をわざわざ選ぶ とあるが、その理由としてはふさわしくな

いものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 便利さに乗ると、能力が磨けないどころか、失われていく能力もあると考えるから。
- イ 便利さに乗ると、身体を通してえられる経験的情報が蓄積されないと考えるから。
- ウ 便利さに乗ると、合理性を追求するがために人が均一化されると考えるから。
- エ 便利さに乗ると、失敗の経験もなく本当に困ることが来ると考えるから。
- オ 便利さに乗ると、持っている自分の能力が磨かれないと考えるから。

問五 ③これ とあるが、どのようなことを指しているか、本文中から二十字で抜き出して答えなさい。

問六 ④それ とあるが、どのようなことを指しているか。本文中の漢字二字で答えなさい。

【一】  
66

問一  
3×9=27

(7)	(4)	(1)
認識	らくいん	きはく
(8)	(5)	(2)
象徴	あいまい	つちか って
(9)	(6)	(3)
じょうじゆ	じあい	宿命

問二  
3

工

問三  
4

才

問四  
4

呼吸

問五  
4×2=8

「説明しあう文化」	(順不同)
「わかりあう文化」	(完答)
「察しあう文化」	(完答)
(完答)	(順不同)

問六  
5

こ  
ん  
な  
身  
も

問七  
5

少  
数  
派  
だ  
。

問八  
5×2=10

ウ  
オ

(順不同)

【二】  
34

問一  
4

考  
え  
る

問二  
4×3=12

B  
ウ  
C  
オ  
D  
ア

問三  
5

ま  
ず  
朝  
一  
時

問四  
4

イ

問五  
4

一	一
日	日
の	の
な	な
か	か
で	で
二	二
時	時
間	間
は	は

問六  
5

発  
見

得点

100

受験番号

氏名